



にこにこ通信第196号

2010/7/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。 謹白。

一 なでしこジャパン世界一

毎年7月はイベントが多く、この「にこにこ通信」もいつも追い詰められた思いで記してきました。今年も中旬を過ぎ16日〜18日の連休中で仕上げないと20日の締切日に間に合わず、「何をテーマにしようかな」と、平素思いついたことをメモ的に書きとめてある「にこにこ通信予備号集」を開いて検討していました。ところがそんな私の迷いを断ち切るように、神が私に一大慶事を与えてくれました。即ち、サッカー女子ワールドカップドイツ大会で我等が「なでしこジャパン」が優勝したという嬉しいニュースです。

東日本大震災に打ちひしがれていた日本人に対し、どれだけ勇気を与えてくれたか計り知れません。

常々申し上げています通り、私は宗教の重要性とか「目に見えない力」を信じていますので、この度の「なでしこジャパン」の優勝にも、単なる偶然

とか「運がよかった」では片付けられない神の意思とも言わなければならない。今回の戦歴を辿ってみましょう。

予選リーグを三戦全勝で通過する予定だったという。結果は二勝一敗の二位通過。全勝で通過していたら、のぼくり心(驕慢心)が起こり、その後の試合に対する心構えも、結果も違ったものになっていたかも知れません。決勝トーナメント第一戦、三連勝を目指す地元ドイツに一点差で勝利、これに勝てばメダルというプレッシャーのかかった第二戦の対スウェーデン戦では2点差の逆転勝利、そして日本時間18日未明のアメリカとの決勝戦。戦前の評価通り、日本が押され圧されて先制されては追付くという展開。客観的に見てアメリカの勝利は当然と思われ、先制されながら同点に追付き、延長戦でも先制され時間に追われながら同点に追付き最後にPK戦での競り勝ち。八百長か芝居でなかるうかと思うくらい絵に描いたような勝ち方でした。これを「神の思し召し」「菩薩の導き」と考えないでおりりようかと私は皆様に訴えたいのです。

今回の「なでしこジャパン世界一」劇に対し、重ねて強調したい場面と、私の思いを記します。

○澤選手へのインタビュ中「どうぞ勝たしてください」と神に祈りました」という一場面。

○或る評論家らしき人へのインタビュ中「運もよかつたんですね。運も実力の中ですからね」この人は人間の努力と情熱を私とは全然違った価値観で量っています。現実・唯物主義者。

○勝利の直後、同僚に抱き着きに行った澤選手の顔の表情。三角形の垂れ目を更に垂れさせ、嬉し泣きを満面・全身に表したところを報道した場面。(私はこのビデオ場面を見る度に、これまで彼女がサッカーに対して払ってきた情熱と努力の大きさを想わされ、感動の涙が抑え切れませんでした)

というわけで、今回の「なでしこジャパン世界一」は、かの評論家らしき人の言う「偶然」や「運」ではなく、その存在を信じて、努力した者へ必ず与えられる神(仏・天)の褒美なのだと私は皆様に訴えたいのであります。

蛇足ながら、それにつけても、菅民主党党首、谷垣自民党党首、その他税金を有効に使っていない国会議員の皆さん方に、自分のことだけを心配するのではなく、澤選手の万分之一だけのものでなく、澤選手の万分之一だけだけと希望する次第であります。